

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価	
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A	
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。					
(1) 薬学部では、愛知学院大学の理念・目的に基づいた「人材の養成・教育研究上の目的」を設定している(1-1薬)。2023年度は、翌年度のカリキュラム改定に伴い、改定カリキュラムに沿った新しい「人材の養成・教育研究上の目的」を作成した(1-2薬)。医療界や社会の要請に対する本学部の「人材の養成・教育研究上の目的」の適切性を検証するために、薬学部が主催する生涯教育講座への参加者(薬剤師と卒業生)及びホームカミングデーへの参加者(卒業生)に対して、医療を取り巻く環境や薬剤師に対する社会のニーズに関するアンケートを実施し(1-3薬、1-4薬)、将来構想委員会、薬学部教授会での点検を開始している(1-3薬、1-4薬)。					
(2) 薬学部の「人材の養成・教育研究上の目的」は、現行版及び改定版ともに、大学の理念にある「自分の可能性に挑戦し、協働の場で主体的に活躍できる人」の育成に合致した内容となっている。					
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。					
根拠資料名					
1-1薬:「愛知学院大学人材の養成・研究教育上の目的に関する規程」					
1-2薬:愛知学院大学内部質保証推進会議(2023.4.25)資料3					
1-3薬:愛知学院大学薬学部2023年度第8回将来構想委員会議事録					
1-4薬:愛知学院大学薬学部2023年度第20回教授会議事録					

点検・評価項目		評価の視点		自己評価	
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示していますか。	A	
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。					
(1) 薬学部の「人材の養成・教育研究上の目的」は、「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示されている(1-1薬)。					
(2) 薬学部では、「人材の養成・教育研究上の目的」を薬学部履修要項(1-5薬)、大学(1-6薬)及び薬学部ホームページ(1-7薬)で公表し、学生に周知している。また、2024年度入学生向けに改定版も薬学部ホームページ(1-8薬)で公表している。					

基準1. 理念・目的

組織名

薬学部

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

1-5薬:2023年度愛知学院大学薬学部履修要項

1-6薬:愛知学院大学ホームページ<https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/2023/purpose1.pdf>

1-7薬:愛知学院大学薬学部ホームページ<http://www.phar.agu.ac.jp/outline/policy/>

1-8薬:愛知学院大学薬学部ホームページ<https://www.phar.agu.ac.jp/news/2023/topics/20230920.pdf>

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。

点検・評価項目番号

長所・特色

なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号

課題・問題点

なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号

改善策

なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、
「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、
「C:重度な問題がある」から選択してください。

自己評価

A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。 ※各学部・研究科の自己点検・自己評価委員会の年2回以上の開催及び委員会での取り組み内容について具体的に記載してください。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学部では、「愛知学院大学薬学部自己点検評価委員会内規」及び「愛知学院大学薬学部評価改善委員会内規」に則り(2-1薬、2-2薬)、自己点検評価委員会が薬学部の教育・研究活動を自己点検・評価し、評価改善委員会が毎年度改善報告書を作成し、学部内組織へフィードバックする仕組みを構築している。この仕組みに則り、薬学部自己点検評価委員会が作成した2022年度の自己点検評価書を薬学部教授会が受け(2-3薬)、薬学部評価改善委員会が改善案を作成して薬学部教授会に提出している(2-4薬、2-5薬、2-6薬)。薬学部評価改善委員会の改善案を基に、薬学部自己点検評価委員会が2023年度の自己点検評価書を作成中である(2-7薬、2-8薬、2-9薬)。なお、薬学部の自己点検・評価書(2022年度版)は、薬学部ホームページに公開している(2-10薬)。 ※前年度指摘事項への対応:根拠資料に自己点検評価委員会及び評価改善委員会の議事録を記載した。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
2-1薬:愛知学院大学薬学部自己点検評価委員会内規				
2-2薬:愛知学院大学薬学部評価改善委員会内規				
2-3薬:愛知学院大学薬学部2023年度第6回教授会資料6-3				
2-4薬:愛知学院大学薬学部2023年度第1回評価改善委員会議事録				
2-5薬:愛知学院大学薬学部2023年度第2回評価改善委員会議事録				
2-6薬:愛知学院大学薬学部2023年度第10回教授会資料10-8				
2-7薬:愛知学院大学薬学部2023年度第1回自己点検評価委員会議事録				
2-8薬:愛知学院大学薬学部2023年度第2回自己点検評価委員会議事録				
2-9薬:愛知学院大学薬学部2023年度第3回自己点検評価委員会議事録				
2-10薬:愛知学院大学薬学部ホームページ https://www.phar.agu.ac.jp/files/data/self_assessment/self_assessment2022.pdf				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準2」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
〔1〕 薬学部では、「人材の養成・教育研究上の目的」に基づいたディプロマ・ポリシーを、履修要項(4-1薬)や大学(4-2薬)および薬学部(4-3薬)ホームページで教職員や学生に周知すると共に、広く社会にも公表している。ディプロマ・ポリシーの到達度は、ルーブリック評価として、薬学部学生と教員が、毎年度末に実施することにより、形成的な成長を確認している(4-4薬)。2023年度は、翌年度のカリキュラム改定に伴い、新しい「人材の養成・教育研究上の目的」に沿ったディプロマ・ポリシーを作成した(4-5薬)。また、新しいディプロマ・ポリシーへの到達度を評価するためのルーブリックについて薬学部FD・SDワークショップにて議論し(4-6薬)、新しいルーブリック評価表を作成した(4-7薬)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-1薬:2023年度愛知学院大学薬学部履修要項				
4-2薬:愛知学院大学ホームページ https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/				
4-3薬:愛知学院大学薬学部ホームページ http://www.phar.agu.ac.jp/outline/policy/				
4-4薬:2022年度ディプロマ・ポリシー到達度ルーブリック評価結果				
4-5薬:愛知学院大学内部質保証推進会議(2023.9.12)資料1				
4-6薬:愛知学院大学薬学部FD・SDワークショップ(2024.1.25)資料				
4-7薬:愛知学院大学薬学部DP到達度のルーブリック評価表				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な連関性がありますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学部では、カリキュラム・ポリシーに基づいた科目編成を構築しており、これを履修要項(4-1薬)や大学(4-2薬)および薬学部ホームページ(4-3薬)にて公表している。また、習得すべき授業科目は、内容に応じて、講義、実習および演習として適切に設定され、カリキュラムマップ、カリキュラムツリー、科目配当表、科目シラバスを履修要項に明示している(4-1薬)。				
(2) 薬学部のカリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーに定められている卒業時に身につけておくべき能力に関連させて規定されている。2023年度は、翌年度のカリキュラム改定に伴い、新しいディプロマ・ポリシーに関連させたカリキュラム・ポリシーを新たに作成した(4-8薬)。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-8薬:愛知学院大学内部質保証推進会議(2023.9.12)資料1				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 ＜学士課程＞ 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 ＜修士課程、博士課程＞ コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学部の授業科目はカリキュラム・ポリシーに沿って編成されており、整合性が取れている(4-1葉)。翌年度から施行される改定カリキュラムにおいても、新しいカリキュラム・ポリシーとの整合性のある科目配当が行われている(4-9葉)。				
(2) 薬学部では、履修要項に科目の順次性・体系性が考慮されたカリキュラムマップとカリキュラムツリーを掲載している(4-1葉)。翌年度から施行される改定カリキュラムにおいても、科目の順次性・体系性が考慮されたカリキュラムマップとカリキュラムツリーを作成している(4-10葉)。				
(3) 個々の科目は、薬学部のカリキュラム・ポリシーならびに薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年度改定版)に準拠した教育内容となっている(4-1葉)。毎年カリキュラム検討委員会・教務委員会が中心となり、カリキュラムや科目内容の精査を行い、必要に応じて科目の見直し等を行っている。翌年度から施行される改定カリキュラムにおいても、薬学部のカリキュラム・ポリシーならびに薬学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改定版)に準拠した教育内容になっている(4-9葉)。				
(4) 薬学部では、薬学の知識・技能・態度を身につけるための教養教育科目と専門教育科目、さらに科学的分析力と論理的思考能力の涵養を目的とした発展系科目と卒業研究によりカリキュラムを編成し、学士課程の修得に相応しい内容となっている(4-1葉)。翌年度から施行される改定カリキュラムにおいても、同様に学士課程の修得に相応しい内容となっている(4-9葉)。				
(5) 医療薬学専門人養成に必要な知識・技能・態度の修得に必要な教育を、薬剤師資格を有する教員が主となり適切に実施している(4-1葉)。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-9葉: 愛知学院大学薬学部2023年度第14回教授会資料14-4				
4-10葉: 愛知学院大学薬学部カリキュラムツリー・カリキュラムマップ(2024年度版)				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。 また、授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。 (教員・学生間や学生同士のコミュニケーション機会の確保、グループ活動の活用等)	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 ＜学士課程＞ ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 ＜修士課程、博士課程＞ ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 各科目のシラバスに予習・復習時間を明記するとともに(4-1薬)、愛知学院大学薬学部の履修及び成績評価に関する規程(4-11薬)に年間取得単位数の上限を明記し(2024年度から施行)、単位の実質化を図っている。卒業要件に定める6年間の修得単位のうち、1年次に修得する単位数が多かったため、翌年度から施行される改定カリキュラムでは大幅に改善した(4-12薬)。				
(2) 教務委員会とカリキュラム検討委員会が中心となり、「薬学教育シラバス」に準拠するよう必要事項が明記されていること、並びに薬学教育モデル・コアカリキュラムが適正に実施されていることを毎年確認している(4-1薬、4-13薬)。また、シラバスの第三者チェックを実施し、適切性を保証するよう努めている(4-14薬)。				
(3) 学生の主体的学習参加を促すために、問題解決型学習(PBL)や少人数グループディスカッション(SGD)を導入した科目、実習、演習を全学年で実施している(4-1薬)。				
(4) ほとんどの専門科目の講義は145名で実施されているが、一部の語学教育は約半数の規模で講義が実施されている(4-1薬)。また、実習、演習科目などでは学生を少人数のグループに分け、学生実習、PBLやSGD等を実施している(4-1薬)。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-11薬:愛知学院大学薬学部の履修及び成績評価に関する規程				
4-12薬:愛知学院大学学則別表10				
4-13薬:愛知学院大学薬学部2023年度第5回教授会資料5-4				
4-14薬:シラバス第三者チェック依頼メール				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。 また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2)	成績評価の客観性、厳格性、公正性、公平性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3)	卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(4)	〈修士課程・博士課程〉 学位論文審査基準を明示し、公表していますか。	
		(5)	学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。 学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(6)	適切に学位授与を行っていますか。	A

【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

- (1)
単位制度の趣旨に基づいた成績評価の方法・基準を科目毎に設定し、各科目のシラバスに明記している(4-1薬)。編入生に対しては、愛知学院大学学則第8条の2に従い、入学時に既修得単位の調査を行い、科目内容等を考慮した適切な単位認定を行っている。
- (2)
成績評価の客観性、厳格性を担保するため、各学期で薬学部教務委員会ならびに薬学部教授会で修得単位の審議、承認を行っている(4-15薬、4-16薬)。また各科目の成績のヒストグラムを、薬学部教務委員会ならびに薬学部教授会で確認している(4-17薬、4-18薬)。
- (3)
学士課程の修了判定基準は、所定期間の在学と教養教育科目46単位以上、薬学専門教育科目140単位以上、合計186単位以上の修得としており、これを履修要項で学生に周知している(4-1薬)。
- (4)
- (5)
学位審査及び修了判定は客観性・厳格性を確保するため、薬学部教授会および薬学部教務委員会内規に則り(4-19薬、4-20薬)、教務委員会において各学生の修得単位数を確認した後(4-21薬)、教授会にて各教員が修得単位の確認をした上で承認を行い(4-22薬)、さらに全学の代表教授会で最終判定を行っている(4-23薬)。本体制については、薬学部履修要項に明示されている。
- (6)
学位授与については、薬学部教授会規程および薬学部教務委員会内規に則り(4-19薬、4-20薬)、教務委員会および教授会で承認し、さらに全学の代表教授会で最終判定を行うことで、客観性・厳格性に基づいた適切な学位授与を行っている(4-21薬、4-22薬、4-23薬)。

【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名
4-15薬: 愛知学院大学薬学部2023年度第6回、第7回、第14回、教務委員会資料
4-16薬: 愛知学院大学薬学部2023年度第9回、第10回、第23回、教授会資料
4-17薬: 愛知学院大学薬学部2023年度第3回、第8回教務委員会資料
4-18薬: 愛知学院大学薬学部2023年度第3回、第12回教授会資料
4-19薬: 愛知学院大学薬学部教授会規程
4-20薬: 愛知学院大学薬学部教務委員会内規
4-21薬: 愛知学院大学薬学部2023年度第16回教務委員会資料
4-22薬: 愛知学院大学薬学部2023年度第27回教授会資料資料
4-23薬: 愛知学院大学代表教授会(2024年2月21日開催)資料

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。 (特に専門的な職業との関連性が強いものにあつては、当該職業を担うのに必要な能力の修得状況を適切に把握できるもの。)	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学部ディプロマ・ポリシーに即した学習成果の測定を、知識(各科目試験および卒業試験)・技能や態度(実習および演習、卒業研究での技能を含めた主体的取り組みの評価)の面から多角的に実施している(4-1薬)。				
(2) 学生の6年間の学習成果を把握、評価するためのアセスメント・テストとして卒業試験を実施している(4-24薬)。卒業研究に関しては、ルーブリックを用いた観点ならびに到達度を学生に明示した上で、その成果の測定を実施している(4-25薬)。また、学生と教員が6年間の体系的な学習成果を把握のためにルーブリック評価を実施している(4-26薬)。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-24薬:愛知学院大学薬学部試験要領				
4-25薬:卒業研究ルーブリック評価表				
4-26薬:DP到達度ルーブリック評価表				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) すべての薬学専門教育科目について、成績のヒストグラムや科目別成績分布ならびに単位取得率一覧を作成し、教務委員会ならびに教授会で確認を行っている(4-15薬、4-16薬、(4-17薬、4-18薬)。また薬学部における各学年の進級状況やPテスト成績、共用試験模試の成績、国家試験の合格率等を調査し、外部試験による学生の学習状況の的確な把握に努めている。				
(2) 薬学部のカリキュラム検討委員会では、カリキュラムの編成や内容に関して、卒業時アンケートなどをもとに定期的な検証・改善を実施する体制が整えられている(4-27薬)。また、FD・SD講演会の実施や研究授業の開催など、改善・向上に向けた取り組みを行っている(4-28薬)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-27薬:愛知学院大学薬学部カリキュラム検討委員会内規				
4-28薬:薬学部研究授業資料				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえたアドミッション・ポリシーを、履修要項(5-1薬)や大学(5-2薬)および薬学部(5-3薬)ホームページで教職員や学生に周知すると共に、広く社会にも公表している。2023年度は、翌年度のカリキュラム改定に伴い、新しいディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえたアドミッション・ポリシーを作成した(5-4薬)。新しいアドミッション・ポリシーは薬学部ホームページで公表している(5-5薬)。				
(2) 薬学部のアドミッション・ポリシーとして、理科系科目(化学、生物学、物理学)および数学、語学(国語、英語)の修学、論理的な思考力と主体的な勉学態度を学生に求めている。またその水準の判定方法については、入試ガイドに明示している(5-6薬)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-1薬:2023年度愛知学院大学薬学部履修要項				
5-2薬:愛知学院大学ホームページ https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/				
5-3薬:愛知学院大学薬学部ホームページ http://www.phar.agu.ac.jp/outline/policy/				
5-4薬:愛知学院大学内部質保証推進会議(2023.4.25)資料4				
5-5薬:愛知学院大学薬学部ホームページ https://www.phar.agu.ac.jp/news/2023/topics/20230920.pdf				
5-6薬:2024年度入試ガイド				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) アドミッション・ポリシーに基づいて設定した学生募集方法を、学生募集要項(5-7葉)ならびにホームページ(5-8葉)で公表している。また入学試験形態や入試形態毎の入学者定員の見直しを行い、適性のある学生の確保に努めている(5-9葉)。				
(2) 入学者選抜においては、学長、各学部の学部長および教務主任を主要メンバーとする全学の入試委員会が設置され(5-10葉)、入学志願者の適性および能力を客観的に評価する体制を整えると共に、その結果を薬学部教授会で審議する体制を整えている。				
(3) 入学者選抜実施のための体制のもと、入学選抜については入学試験形態毎に筆記試験及び面接試験などの結果に基づき公正に選抜を実施している(5-11葉)。				
(4) 入学を希望する学生に対して、入試要項に基づいた適正な入学者選抜を実施している(5-7葉)。受験生の不利にならないよう、必要に応じて別室受験や医療機器等の試験室への持ち込みを許可している。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-7葉:2024年度入試 一般入試要項				
5-8葉:愛知学院大学ホームページ入試 http://navi.agu.ac.jp/examination/				
5-9葉:愛知学院大学薬学部2023年度第14回教授会資料14-5				
5-10葉:2023年度入試委員会メンバー資料				
5-11葉:愛知学院大学入試委員会資料				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 入学者数/入学定員数を1.0～1.1未満とする慎重な入学者選抜を入試会で行っており、薬学部の2023年度の比率は1.1であった。また、2023年5月1日現在で在籍学生数/収容定員は1.0である(5-12薬)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-12薬:愛知学院大学ホームページ https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/data/teiin2023.pdf				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学部では、入学後プレースメントテストを実施し、受け入れた学生の学習状況を評価するとともに(5-9薬)、各学年の進級状況、在籍状況の確認を行っている。また、将来構想委員会がアドミッション・ポリシーの適切性や入学定員の適切性について点検しており、これを自己点検評価委員会および評価改善委員会が評価している(5-13薬)。				
(2) 入学試験形態毎の入学者定員の見直しや選抜方法の見直しを将来構想委員会の議を経た後、薬学部教授会で承認する体制により、適正のある学生の確保に努めている(5-9薬)。				
【根拠資料名】上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-13薬:愛知学院大学薬学部自己点検・評価報告書(2022年度版)				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。

点検・評価項目番号	長所・特色
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準5」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針(分野構成、各教員の役割、連携のあり方、教育研究に係る責任所在の明確化等)を適切に明示していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 大学の教員編制指針とは別に、薬学部においても学部の教員組織の編制方針を規定し、適切に教員を配置している(6-1薬)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-1薬:薬学部教員組織の編制方針				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教員組織の編制に関する方針と教員組織の整合性 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 適切な職位からなる専任教員が大学設置基準以上の人数で配置されているが、学生数との比率は約20:1であり、薬学教育評価機構が求める比率(10:1)とは乖離がある(6-2薬)。				
(2) 薬学部の教員組織の編成に基づき、専任教員数の維持並びに適切な教員配置に配慮した、計画的な募集・採用・昇任人事を実施している。2023年度は、1名の教員(男性1名)の教授への昇任、1名の教員の教授採用(男性1名)、2名の教授(男性1名、女性1名)の任期制教員から専任教員への移行、及び、3名の教員(男性1名、女性2名)の助教採用が承認され、2024年度から新たな教員組織が編制される(6-3薬)。				

(3)
専門分野について教育上および研究上の優れた実績を有する専任教員が配置され、その年齢構成に偏りはない。専任教員とは別に、実務実習支援として特任講師(4名)が学外のサポートを行っている。また寄附講座の特任教員(2名)や実習・演習などの科目では非常勤実験助手の採用枠も確保しており、教員の負担軽減にも配慮されている(6-2薬)。

(4)
本学には教養部が設置されており、学部と連携しながら効果的な教養教育が実施されている。とくに1年次には教養部の理系教員が薬学部生のアドバイザー教員となり学習をサポートするとともに(6-4薬)、学生情報をe-ポートフォリオにより共有している。また、薬学部で実施される保護者相談会にも出席している(6-5薬)。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

6-2薬:愛知学院大学薬学部自己点検・評価報告書(2022年度版)

6-3薬:愛知学院大学薬学部教員資格審査委員会報告書(個人情報のため、個々には明示しない)

6-4薬:2023年度愛知学院大学薬学部履修要項

6-5薬:2023年度大学後援会保護者相談会資料

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1)
「愛知学院大学薬学部教員資格審査内規」(6-6薬)および「薬学部教員資格審査委員会規程」(6-7薬)を策定し、「教授選考」、「准教授、講師、助教および助手の採用」、さらに「准教授、講師および助教への昇任」について明文化している。なお、2023年度は、「愛知学院大学薬学部教員資格審査内規」および「薬学部教員資格審査委員会規程」を見直し、適正に改定した(6-8薬)。

(2)
「愛知学院大学薬学部教員資格審査内規」に基づき、教員資格審査委員会を立ち上げ、当該委員会の審査結果を薬学部教授会に諮り採用、昇任を決定し、代表教授会に諮っている(6-3薬)。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

6-6薬:愛知学院大学薬学部教員資格審査内規

6-7薬:愛知学院大学薬学部教員資格審査委員会規程

6-8薬:愛知学院大学薬学部2023年度第12回教授会資料12-2

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。 ・教育改善以外に研究の活性化や社会貢献等の教員に求められる諸活動について資質向上を図る取り組みの実施 ※学部及び大学院について、それぞれの内容に特化したFD活動を行っているか、併せてご確認ください。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 愛知学院大学薬学部・薬学研究科FD・SD委員会(6-9薬)が設置され、教員の教育研究能力の向上を図るための取り組みが実施されている。薬学部では平成24年度から、ほぼ全員の専任教員が参加するFD講演会、FD・SDワークショップ、研究授業を開催し、教育研究活動の改善に努めている。2023年度は、研究授業に加えて(6-10薬)、新しいDP到達度を評価するための2回のワークショップを開催した(6-11薬)。				
(2) 専門分野について教育上および研究上の優れた実績を有する者が配置されていることを担保するために、平成28年度より「愛知学院大学薬学部における教員の活動業績評価指針」(6-12薬)に基づいた活動業績を専任教員移行後5年毎に評価し、評価結果を教員にフィードバックしている。(6-12薬)。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-9薬:愛知学院大学薬学部・薬学研究科FD・SD委員会内規				
6-10薬:薬学部研究授業資料				
6-11薬:愛知学院大学薬学部・薬学研究科FD・SDワークショップ資料(第1回、第2回)				
6-12薬:愛知学院大学薬学部2023年度第23回教授会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学部では、教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っている。2023年度は、翌年度からの新しいカリキュラムの実施に伴い、将来構想委員会が教員組織(講座)の見直しを開始した(6-13薬)。				
(2) 薬学部では、自己点検評価委員会と評価改善委員会が中心となって、教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っている(6-2薬)。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-13薬:愛知学院大学薬学部将来構想委員会資料				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2023年度(評価対象期間:2023年4月～2024年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 薬学部では、学外の組織・企業などと共同研究等を通じた社会連携を進めている(9-1薬)。また、例年、医療・薬学における国際交流の活性化に努め、米国及びアジア地区の大学間で学生や教員の相互派遣を実施してきた。2023年度は、韓国及び米国との交流事業を実施するとともに、米国との交流事業で中心的な役割を果たしている米国在住の小崎 彩先生の特別講演会を開催した(9-2薬、9-3薬)。 (2) 地域の医療機関と連携協定を結び、地域医療の発展並びに薬剤師の資質向上に努めている(9-4薬)。また、医療に関わる大学や病院、薬局、企業との共同研究を通じた社会貢献を積極的に推進している。2023年度は、愛知学院大学薬学部生涯教育講座(計3回)の開催を薬学部ホームページで広く社会に周知し、開催した(9-5薬)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
9-1薬:愛知学院大学薬学部自己点検・評価報告書(2022年度版)				
9-2薬:愛知学院大学薬学部国際交流委員会資料				
9-3薬:日本薬学会東海支部特別講演会資料				
9-4薬:実務家教員研修資料				
9-5薬:愛知学院大学薬学部生涯教育委員会資料				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく定期的な点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 社会連携・社会貢献事業について、社会連携活動推進委員会、国際交流委員会、生涯教育委員会からの評価報告に基づき、社会連携活動について自己点検評価委員会にて点検・評価を行っている(9-1薬)。 (2) 薬学部では、自己点検評価委員会と評価改善委員会が中心となって、社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っている(9-1薬)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「S」とした場合は、必ずその内容を成果とともに記述してください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。自己評価欄を「C」とした場合は、必ずその内容を記述してください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A